

インバウンドの「変化の兆し」をいち早く 都道府県別訪日外客数と訪問率

月次指標の早期推計：11月レポート

稲田義久（APIR 研究統括兼数量経済分析センター長）
松林洋一（APIR 上席研究員）
野村亮輔（研究推進部）
古山健大（調査役）
内容に関するお問い合わせは下記まで
e-mail: nomura-r@api.or.jp

ポイント

● 12月発表データのレビュー：JNTO 訪日外客数

▶ JNTO 訪日外客統計によれば(図 1 及び表 3)、**11月の訪日外客総数(推計値)は 20,700 人**と前月(22,100 人)から幾分減少したが、水準は2カ月連続で2万人を超えた。11月6日からワクチン接種を完了したビジネス目的の短期滞在者や留学生などの新規入国が許可されたが、緩和策の影響は限定的であった。

▶ 訪日外客数のトップ 5 を国・地域別にみると、中国が 3,200 人で最も多かった。次いで韓国が 2,000 人、ベトナムが 1,800 人、インドが 1,600 人、米国が 1,400 人であった。

▶ **目的別訪日外客総数(暫定値)をみれば、9月は 17,720 人**となった(前々年同月比-99.2%)(図 2 及び表 4)。うち、観光客は 1,124 人(同-99.9%)、商用客は 1,676 人(同-98.9%)、その他客は 14,920 人(同-92.7%)であった。東京オリンピック・パラリンピックが閉幕したこともあり、観光客は再び低水準となった(7月：42,621 人、8月：13,304 人)。

▶ 訪日外客数の目的別トップ 5 を国・地域別にみると、9月の観光客は米国が 229 人、中国が 89 人、中東地域が 73 人、韓国が 72 人、フランスが 56 人。商用客は中国が 362 人、韓国が 235 人、米国が 114 人、ドイツが 87 人、英国が 54 人。その他客は中国が 3,509 人、韓国が 1,917 人、米国が 1,314 人、ベトナムが 993 人、インドネシアが 487 人であった。

▶ **11月下旬以降、世界各国は新変異株(オミクロン株)の感染拡大を受け、水際対策の強化を行っている。**これまで各国・地域はワクチン接種完了者に対して入国緩和を行っていたが、オミクロン株の感染拡大により、再び厳しい入国制限を開始している。また、欧米の主要各国では、感染状況の悪化を受け、予防効果を高めるためにワクチンの追加接種を促進している。追加接種率をみれば、英国 38.6%、ドイツ 28.9%、フランス 24.2%、米国 17.9%となっている(図 3)。欧州を中心に接種率が上昇しているが、依然感染拡大は続いており、先行きは不透明感が強い。

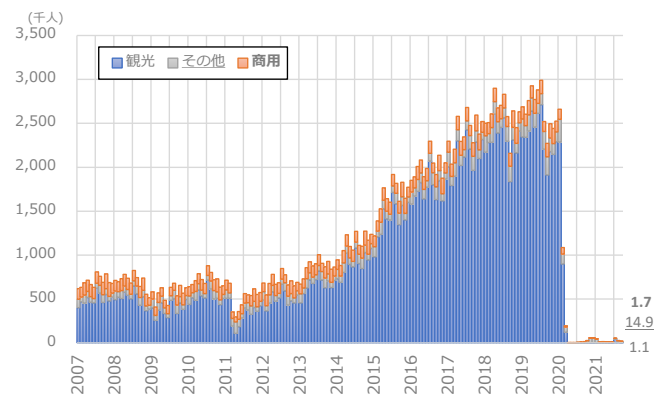
▶ 日本もオミクロン株の国内流入を防ぐため、水際対策を再び強化している。政府は 11月8日からワクチン接種の完了した外国人の新規入国を条件付きで認めていたが、オミクロン株の感染拡大を受け、30日から新規入国を一時停止した。日本の感染状況は諸外国と比べ落ち着きをみせているが、日本国内においてもオミクロン株の影響への懸念から、政府が今後、入国制限を更に強化する可能性もあり、12月以降、訪日外客数は低水準が続くと予想される。

図 1 訪日外客数推移



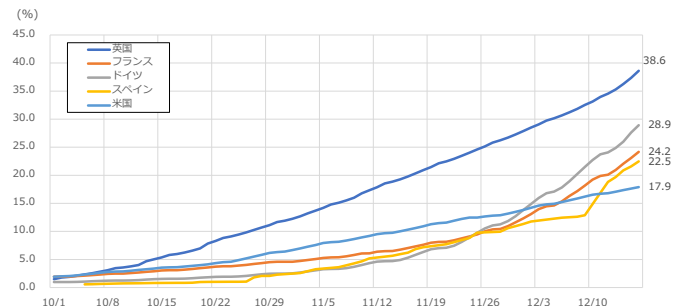
出所:日本政府観光局(JNTO)「訪日外客数」より筆者作成
注) 2020年まで確定値、21年1-8月は暫定値、
21年9-10月は推計値

図 2 目的別訪日外客数推移



出所:日本政府観光局(JNTO)「訪日外客数」より筆者作成
注) 「観光客」とは、短期滞在の入国者から「商用客」を引いた入国外国人で、親族友人訪問を含んでいる。「その他客」とは、観光、商用目的を除く入国外国人で、留学、研修、外交・公用などが含まれる。

図 3 ワクチンの追加接種状況



出所:Our World In Data より作成(12月16日時点)

*本レポートで使用している観光庁「訪日外国人消費動向調査」の統計調査が現在行われていないため、2020年11月公表分レポートより内容を一部変更していることにご留意ください。

トピックス 1

● 11月関西の財貨・サービス貿易及び10月のサービス産業動向

▶ 関西 11月の輸出は前年同月比+22.9%と9カ月連続で増加した(前月:同+21.1%)(図4)。品目別にみれば、アジア向けの半導体等電子部品やアラブ首長国連邦向けの原動機の好調もあり、輸出額は11月単月で過去最高額となった。輸入は原燃料価格の高騰もあり同+39.2%と10カ月連続で増加した(前月:同+18.2%)。結果、関西の貿易収支は+844億円と22カ月連続の黒字となったが、輸入の伸びが加速し輸出の伸びを上回ったため、黒字幅は前年同月比-60.3%と2カ月ぶりに大幅縮小した。

▶ 対中貿易動向をみると(図5)、関西11月の対中輸出は前年同月比+20.6%と18カ月連続で増加し、前月(同+17.1%)から加速した。うち、半導体等電子部品や非鉄金属が輸出増に寄与した。また、対中輸入は同+19.4%と6カ月連続で増加した(前月:同+13.2%)。うち、有機化合物や衣類及び同附属品が輸入増に寄与した。

▶ 11月の関西国際空港(以下、関空)への訪日外客数は3,678人と前月(3,743人)から小幅減少した(前々年同月比-99.5%)(図6)。政府は11月6日からビジネス目的などに限った外国人の新規入国を認めていたが、入国緩和の影響は小さかったようである。また、同月の日本人出国者数は4,467人で前月(4,160人)から増加したが、伸びは前々年同月比-98.6%と大幅減少が続いており、アウトバウンド需要も低迷している。

▶ 10月のサービス業は飲食店などへの制約条件の緩和もあり前月から活動指数が加速した。サービス業の生産活動を示す第3次産業活動指数(季節調整済み:2015年平均=100)をみれば(図7)、10月は97.4で前月比+1.5%上昇し、2カ月連続のプラスとなった(前月:同+0.5%)。10月に入りCOVID-19の感染状況が落ち着き、飲食店への酒類提供などの制約緩和が行われたこともあり、飲食関連の改善が好影響した。対面型サービス業指数*は84.1で同+8.4%上昇し、2カ月連続のプラス(前月:同+3.4%)。うち、飲食店、飲食サービス業(同+26.3%)の改善が大きく影響した。

▶ 観光関連指数**(2015年平均=100)は、74.6と前月比+14.6%大幅上昇した(図7)。緊急事態宣言解除で行動制限が解除され、国内旅行が増加したことから宿泊業(同+41.2%)が大きく改善し、2カ月連続のプラスとなった。

▶ 10月の活動指数を7-9月平均と比較すれば、第3次産業は+1.4%、対面型サービス業指数は+8.6%、観光関連指数は+12.4%といずれも上昇した。

*対面型サービス業は、運輸業、宿泊業、飲食店、飲食サービス業、その他の生活関連サービス業及び娯楽業を指す。

**観光関連指数は第3次産業活動指数のうち、観光庁「旅行・観光サテライト勘定」の分類に対応する、鉄道旅客運送業、道路旅客運送業、水運旅客運送業、航空旅客運送業、旅客運送業、その他のレンタル、自動車賃貸業、宿泊業、飲食店、飲食サービス業、旅行業、映画館、劇場・興行団の各指数の加重平均。

図4 関西 対世界貿易の推移

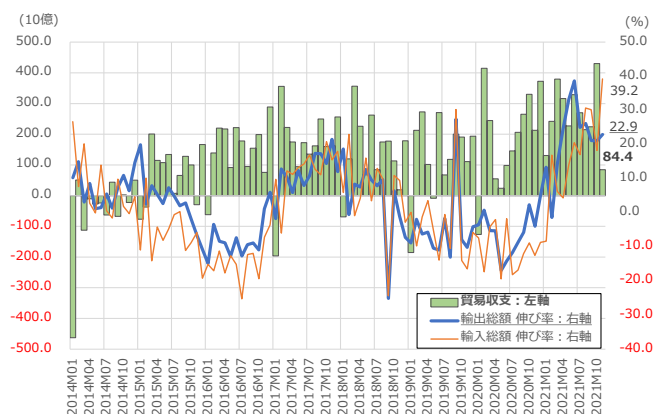
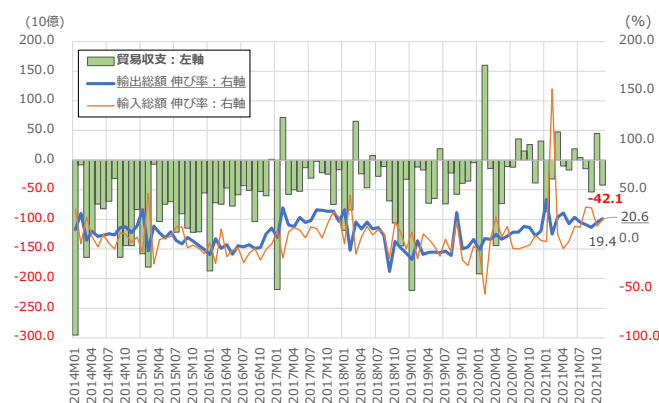
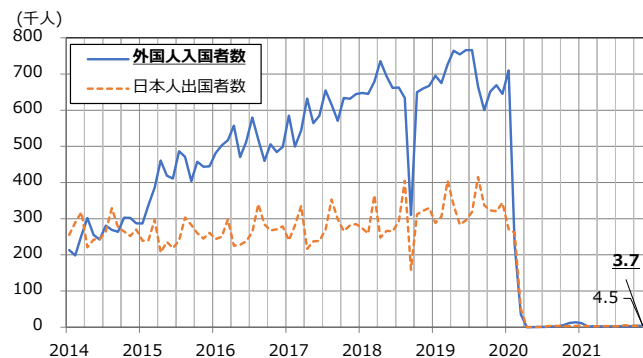


図5 関西 対中貿易の推移



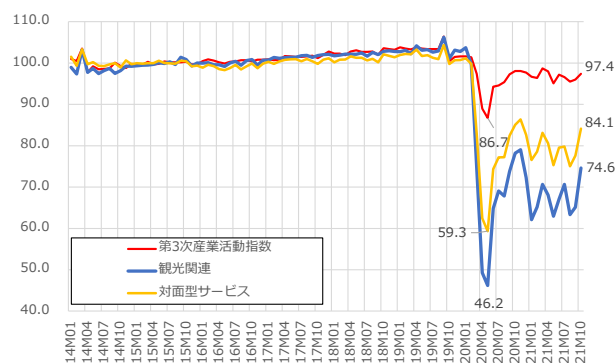
出所:「大阪税関貿易速報資料:近畿圏」より筆者作成

図6 関西国際空港 訪日外客入国者数推移



出所:出入国管理統計より筆者作成。2021年11月値は速報値

図7 観光関連 対面型サービス 第3次産業:2015年=100



出所:経済産業省「第3次産業活動指数」より筆者作成

トピックス 2

●9月延べ宿泊者数の動向：関西2府8県

▶観光庁によれば、9月の関西2府8県の延べ宿泊者数(全体)は4,051.8千人泊であった。コロナ禍の影響がない前々年同月比は-58.7%と前月の減少幅(同-55.1%)から拡大した(表1)。三重県、滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県を対象とした4度目の緊急事態宣言(9月30日まで)が影響し、宿泊者数が落ち込んだ。

▶日本人延べ宿泊者数は4,012.9千人泊であった。前々年同月比-45.3%と前月の減少幅(同-42.5%)から拡大した(表1及び図8)。

▶外国人延べ宿泊者数は、38.9千人泊と、前々年同月比-98.4%減少した(前月：同-98.6%)(表1及び図9)。

▶10月の全国延べ宿泊者数(全体、1次速報ベース)は32,900千人泊であった。前々年同月比-34.3%と前月(22,427千人泊)の減少幅(同-54.0%)から大きく縮小した。緊急事態宣言及びまん延防止等重点措置が9月30日に終了し、人出の増加を背景に宿泊者数が回復したと思われる。関西においても秋の行楽シーズンや府県独自の旅行補助事業が開始・再開したことに伴い、宿泊者数の押し上げが期待される。

▶観光庁は11月19日、都道府県が独自で実施する府県民割の対象範囲拡大等について発表し、関西各府県でも支援対象を拡大し始めた。現在5府県が支援対象の拡大、3府県が期間の延長を発表した(表2)。

図8 府県別日本人延べ宿泊者数 推移

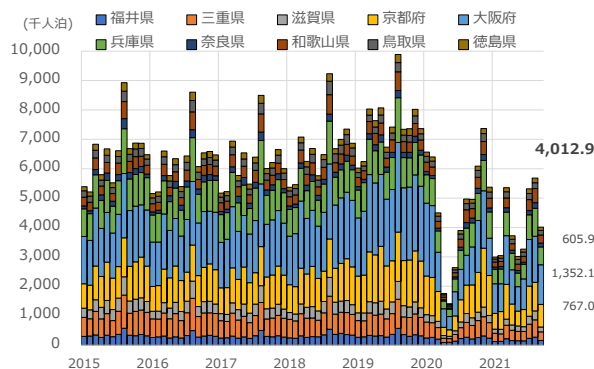


図9 府県別外国人延べ宿泊者数の推移

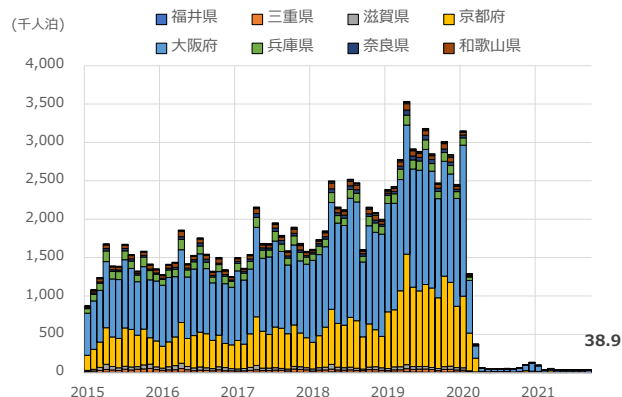


表1 関西 延べ宿泊者数伸び率の推移

2021年9月	総数			日本人			外国人		
	延べ宿泊者数: (千人泊)	伸び率: 20年比(%)	伸び率: 19年比(%)	延べ宿泊者数: (千人泊)	伸び率: 20年比(%)	伸び率: 19年比(%)	延べ宿泊者数: (千人泊)	伸び率: 20年比(%)	伸び率: 19年比(%)
福井県	158.7	-24.8	-56.5	157.8	-25.1	-56.0	0.9	78.4	-86.0
三重県	295.3	-35.8	-52.6	294.6	-35.8	-51.0	0.7	-55.1	-96.7
滋賀県	164.3	-37.1	-59.9	163.7	-37.0	-57.3	0.7	-44.1	-97.6
京都府	771.2	-31.4	-68.6	767.0	-31.4	-50.0	4.2	-35.2	-99.5
大阪府	1,377.7	4.0	-63.4	1,352.1	4.7	-45.4	25.6	-22.5	-98.0
兵庫県	610.4	-25.9	-45.5	605.9	-26.1	-40.9	4.5	27.6	-95.2
奈良県	128.6	-20.2	-41.2	128.1	-20.0	-27.7	0.5	-45.3	-98.8
和歌山県	276.7	-15.1	-33.6	276.2	-15.0	-24.7	0.5	-41.6	-99.0
鳥取県	157.7	-15.5	-31.2	156.9	-15.7	-28.5	0.8	39.0	-91.8
徳島県	111.2	-12.8	-46.2	110.7	-12.9	-43.8	0.4	19.4	-95.5
関西2府4県	3,329.0	-17.2	-60.3	3,293.0	-17.2	-44.8	36.1	-21.8	-98.5
関西2府8県	4,051.8	-19.1	-58.7	4,012.9	-19.1	-45.3	38.9	-20.8	-98.4
全国	22,427.3	-21.4	-54.0	22,153.2	-21.8	-45.3	274.1	21.4	-96.7

出所：観光庁「宿泊旅行統計調査」より筆者作成(図8・9及び表1)

表2 関西 自府県民向け旅行補助事業

	キャンペーン名	キャンペーン期間(宿泊割引)	対象	対象拡大
福井県	ふくいdeお得キャンペーン	2021年10月1日～12月31日*	自県民	富山県、石川県、岐阜県、滋賀県、京都府
三重県	みえ得トラベルクーポン	2021年10月15日～11月30日	自県民	
滋賀県	今こそ滋賀を旅しよう	第4弾：2021年7月9日～12月31日	自県民	福井県
京都府	きょうと魅力再発見旅プロジェクト	2021年10月22日～12月31日	自府民	滋賀県、大阪府、兵庫県、奈良県、福井県、三重県
大阪府	大阪いらっしやいキャンペーン2021	2021年11月24日～22年2月28日	自府民	
兵庫県	ふるさと応援！ひょうごを旅しようキャンペーン	前売り宿泊券・旅行券：2021年10月14日～22年2月28日 (OTA予約が割引対象)第1期：21年11月12日～12月2日 第2期：12月3日～22年2月28日	自県民	大阪府、京都府、和歌山県、奈良県、滋賀県、岡山県、鳥取県、徳島県、香川県
奈良県	いまなら。キャンペーン2021	2021年12月1日～22年2月28日	自県民	
和歌山県	わかやまりフレッシュプラン3rd	2021年12月31日まで	自県民	
鳥取県・島根県	#WeLove山陰キャンペーン	2022年1月31日まで	鳥取県民・島根県民	
徳島県	みんなで！とくしま応援割	2021年10月1日(割引適用再開)～12月31日	自県民	兵庫県、和歌山県、香川県、愛媛県、高知県

注：赤字は前月からの変更点。旅行補助事業は、府県相互の調整が終わり次第、順次開始される。

出所：各府県発表資料より筆者作成(2021年12月16日現在)

表3 2021年11月訪日外客数 (JNTO 推計値) (対2019年比)

国・地域	総数 Total			総数 Total		
	2019年	2021年	伸率(%)	2019年	2021年	伸率(%)
	11月	11月		1-11月	1-11月	
総数	2,441,274	20,700	-99.2	29,355,662	233,800	-99.2
総数(韓国・その他除く)	2,136,550	12,540	-99.4	22,895,352	154,050	-99.3
韓国	205,042	2,000	-99.0	5,336,638	17,800	-99.7
中国	750,951	3,200	-99.6	8,884,160	40,500	-99.5
台湾	392,102	400	-99.9	4,542,333	4,700	-99.9
香港	199,702	100	-99.9	2,041,150	1,100	-99.9
タイ	140,265	200	-99.9	1,154,041	2,500	-99.8
シンガポール	65,295	100	-99.8	391,876	800	-99.8
マレーシア	64,987	100	-99.8	423,342	1,700	-99.6
インドネシア	37,213	700	-98.1	353,576	5,000	-98.6
フィリピン	64,763	500	-99.2	531,572	5,400	-99.0
ベトナム	41,892	1,800	-95.7	464,445	26,200	-94.4
インド	14,863	1,600	-89.2	164,157	7,600	-95.4
豪州	48,327	200	-99.6	549,118	3,200	-99.4
米国	148,993	1,400	-99.1	1,579,363	19,000	-98.8
カナダ	33,316	400	-98.8	340,130	3,500	-99.0
メキシコ	6,494	50	-99.2	65,246	1,090	-98.3
英国	37,709	500	-98.7	396,529	7,100	-98.2
フランス	24,290	300	-98.8	316,072	6,700	-97.9
ドイツ	19,525	300	-98.5	222,905	5,200	-97.7
イタリア	12,350	200	-98.4	151,573	3,500	-97.7
ロシア	13,142	300	-97.7	111,210	3,600	-96.8
スペイン	10,535	90	-99.1	122,948	2,960	-97.6
中東地域	9,836	100	-99.0	89,606	2,700	-97.0
その他	99,682	6,160	-93.8	1,123,672	61,950	-94.5

表4 2021年9月目的別訪日外客数 (JNTO 暫定値) (対2019年比)

国・地域	総数 Total			観光客 Tourism			商用客 Business			その他客 Others		
	2019年	2021年	伸率(%)	2019年	2021年	伸率(%)	2019年	2021年	伸率(%)	2019年	2021年	伸率(%)
	9月	9月		9月	9月		9月	9月		9月		
総数	2,272,883	17,720	-99.2	1,913,105	1,124	-99.9	154,051	1,676	-98.9	205,727	14,920	-92.7
韓国	201,252	2,224	-98.9	152,617	72	-100.0	21,633	235	-98.9	27,002	1,917	-92.9
中国	819,054	3,960	-99.5	705,154	89	-100.0	33,159	362	-98.9	80,741	3,509	-95.7
台湾	376,186	390	-99.9	354,624	37	-100.0	10,766	49	-99.5	10,796	304	-97.2
香港	155,927	120	-99.9	150,763	15	-100.0	3,395	31	-99.1	1,769	74	-95.8
タイ	62,057	153	-99.8	54,621	39	-99.9	3,310	4	-99.9	4,126	110	-97.3
シンガポール	29,147	70	-99.8	25,124	5	-100.0	3,435	11	-99.7	588	54	-90.8
マレーシア	28,778	231	-99.2	23,871	2	-100.0	2,525	8	-99.7	2,382	221	-90.7
インドネシア	25,021	518	-97.9	17,652	28	-99.8	2,475	3	-99.9	4,894	487	-90.0
フィリピン	37,758	441	-98.8	30,576	34	-99.9	2,565	10	-99.6	4,617	397	-91.4
ベトナム	38,325	1,012	-97.4	9,383	14	-99.9	3,466	5	-99.9	25,476	993	-96.1
インド	15,895	493	-96.9	6,269	11	-99.8	6,054	46	-99.2	3,572	436	-87.8
豪州	60,498	121	-99.8	55,570	18	-100.0	3,593	18	-99.5	1,335	85	-93.6
米国	127,190	1,657	-98.7	100,459	229	-99.8	19,973	114	-99.4	6,758	1,314	-80.6
カナダ	28,525	220	-99.2	25,379	27	-99.9	1,934	25	-98.7	1,212	168	-86.1
メキシコ	6,282	24	-99.6	5,523	8	-99.9	416	2	-99.5	343	14	-95.9
英国	49,580	277	-99.4	41,325	41	-99.9	5,845	54	-99.1	2,410	182	-92.4
フランス	26,530	484	-98.2	20,157	56	-99.7	3,725	51	-98.6	2,648	377	-85.8
ドイツ	22,768	319	-98.6	16,328	53	-99.7	4,537	87	-98.1	1,903	179	-90.6
イタリア	13,354	220	-98.4	10,551	23	-99.8	1,784	42	-97.6	1,019	155	-84.8
ロシア	10,454	231	-97.8	7,261	12	-99.8	2,085	17	-99.2	1,108	202	-81.8
スペイン	11,472	126	-98.9	9,942	9	-99.9	808	14	-98.3	722	103	-85.7
中東地域	8,678	268	-96.9	6,863	73	-98.9	1,071	39	-96.4	744	156	-79.0
その他	118,152	4,161	-100.0	83,093	229	-100.0	15,497	449	-100.0	19,562	3,483	-99.8

注) 目的別訪日外客数の定義については、図2 注参照。

出所: 日本政府観光局(JNTO)、2021年12月15日付より筆者加工